

千葉市役所 本庁舎



外観

低層棟(写真手前)と高層棟(写真奥)からなる「千葉市役所 本庁舎」。低層棟エントランス前のまちかど広場には、木製ルーバーの大きな庇が設けられ、木のぬくもりを感じさせる外観が、憩いと安らぎを演出している。



市民ヴォイド

低層棟1-2Fの吹き抜け、開放感のある「市民ヴォイド」は、イベントスペースとして活用。木目調のルーバーが温かみのある雰囲気演出している。



1F 案内板



各フロアを記載した案内板には、階数表示の目立つ位置に、バリアフリートイレの設置有無と、左右勝手違いをサインで示している。



1F来庁者用トイレ入口

広い庁舎内でも、遠くからトイレの位置がわかりやすいように、突き出しサインを設置。あわせてトイレ入口には、トイレコーナー内の仕様・配置・設備を案内板で掲示している。



1F来庁者用 女性トイレ

お子様連れに配慮し、女性トイレ内に幼児用小便器を設置。すべての大便器ブースにL型手すりが設置され、さまざまな身体状況の来庁者に配慮している。



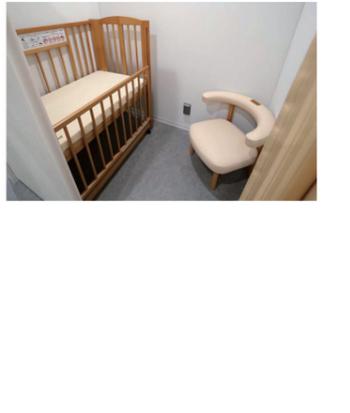
1F来庁者用
バリアフリートイレ

バリアフリートイレの入口には、内部の設備や左右勝手違いがわかるようサインを掲示。また、大便器横の壁面には、外国人に配慮して利用方法を案内する多言語の音声案内を設置している。



1F来庁者用
バリアフリートイレ

バリアフリートイレには、使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現した、フラットカウンター・バリアフリートイレバックを採用している。



1F来庁者用
ベビー休憩室

乳幼児連れの方に配慮して、おむつ替えコーナーと調乳スペース、授乳室を完備したベビー休憩室を備えている。



1F職員用 トイレ入口

木目調で温かみを感じられるサインには、車いす対応ブースがあることと、着替え台が設置されていることをピクトグラムで表示。また、男女トイレとも入口に姿見を設置し、身だしなみ配慮がなされている。



1F職員用 女性トイレ
洗面コーナー

職員用トイレには、男女ともに、洗面コーナーに菌みがきボウルを設置。水栓は、衛生面に配慮して非接触で利用できる自動水栓を採用している。



1F職員用 女性トイレ
大便器ブース



停電時でもトイレが使用できるよう、停電時洗浄レバー付きの壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。ブースの扉は、未使用時には、大便器が見えない角度に開半開きタイプを採用している。



1F職員用 女性トイレ
車いす利用者ブース

職員用トイレには、男女ともに、車いす使用者に配慮したブースが1ヶ所ずつ設けられ、必要な器具がパッケージされたコンパクト・バリアフリートイレバックを採用。さらにフィッティングボードも設置されている。

千葉市役所 本庁舎



1F職員用 男性トイレ
全体

女性トイレ同様に、歯みがきボウルや車いす利用者ブースが設置された、職員用男性トイレ。多様な利用者に配慮し、洗面カウンターには手すりを設け、車いすでのアプローチにも配慮して足元の空間を広く確保している。



1F職員用 男性トイレ
小便器コーナー

プライバシーに配慮し、小便器に間仕切りを設置。また、荷物配慮として、ライニングの天板のふちを立てることで、荷物の落下を防ぐとともに、傘などが掛けやすくなっている。



6F来庁者用 男性トイレ入口

入口のサインには、トイレの設備がひと目でわかるピクトグラムと、視覚障がい者に配慮して触知図を掲示している。



水まわりの特長

建物の特徴

千葉市は、千葉県内最大となる人口約98万人(2023年現在)を擁する政令指定都市。前庁舎の築年数が40年以上経ち、耐震性が不足していたことから、市庁舎の建て替えを実施。新庁舎のコンセプトは「まち・人・緑をつなぐシティホール、政令指定都市にふさわしい機能を備えた庁舎」。基礎免震構造を採用し、高度な環境性能を追求した新庁舎は、本庁機能を集約し、市民の生活を支える場として役割を果たす。危機管理センターを新たに設置し、総合防災拠点として、災害発生時など有事のバックアップ機能を完備。さらに、多様な利用者に配慮して、通行しやすい段差のない動線や幅員の確保、全フロアにバリアフリートイレを設置、ベビー休憩室の整備など、ユニバーサルデザインが行き届いている。

水まわりの特長

ユニバーサルデザイン配慮として、全フロアにバリアフリートイレやオストメイト用の汚物流しを完備。バリアフリートイレは階や棟によって左右勝手違いを配置、その情報を案内図や各トイレ入口サインに表示している。また、男女トイレに、スペースを広めにとった車いす利用者ブースを設け、さまざまな身体状況の方や性的マイノリティの方なども安心して利用できるよう、手すりや手洗器を設置している。また、男性トイレ小便器間には、プライバシー配慮として市と施工会社で検証を行い仕様を決定した、間仕切りを設置。さらに、停電時でもトイレが使用できるよう停電時洗浄レバー付きの大便器や、衛生面に配慮し非接触で使用できる自動水栓と自動洗浄小便器を採用するなど、さまざまな視点が活かされている。



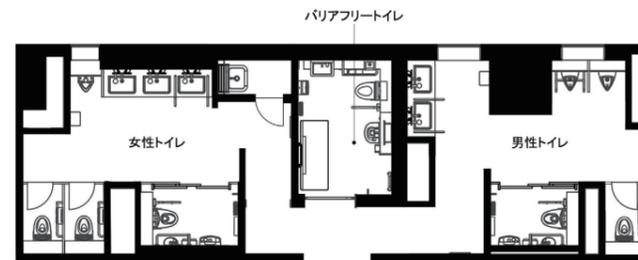
6F来庁者用 男性トイレ

停電時でもトイレが使用できるよう、停電時洗浄レバー付きの壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。尿もれパッドなどのケア用品を捨てるためのサニタリーボックスを設置している。



6F来庁者用
バリアフリートイレ

フラットカウンター・バリアフリートイレパックを採用。さまざまな身体状況の方に配慮し、収納式多目的シートも設置されている。



1F来庁者用トイレ図面

建築概要

名称	千葉市役所 本庁舎
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港1-1
施主	千葉市
基本設計	久米設計・隈研吾建築都市設計共同企業体
実施設計	大成建設一級建築士事務所
施工	大成・鶴沢建設共同企業体
竣工年月	2023年1月
敷地面積	29,000.12㎡
建築面積	6,439.69㎡
延床面積	48,888.74㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上11階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
- ウォシュレットアプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830AUYS
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900系
- 洗面器:L502
- 歯みがき器:L595
- 台付自動水栓:TLE25*06J系
- コンパクトバリアフリートイレパック:UADAK01L系
- フラットカウンター・バリアフリートイレパック:XPDA系
- 幼児用小便器:U310GW



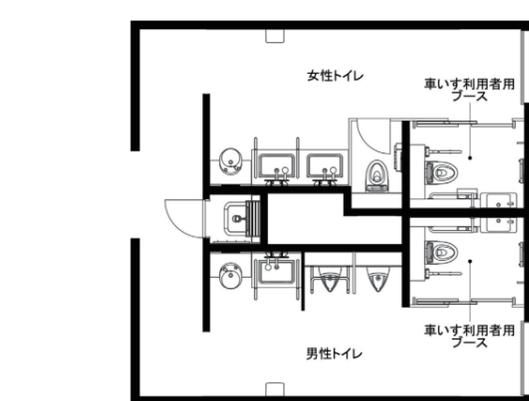
6F職員用 女性トイレ
スタイリングコーナー

身繕いができるスタイリングコーナーを歯みがきボウルに隣接して設置。また、プライバシーに配慮して、気兼ねなく使える個別スタイリングコーナーも設けられている。



6F職員用 男性トイレ

窓に面した歯みがきコーナーでは、ゆとりのあるスペースで歯みがきすることが出来る。また、プライバシーに配慮し、小便器に間仕切りが設けられている。



1F職員用トイレ図面